

レビス® ELISA Kit サイトカイン シリーズ

レビス®にサイトカインのラインナップが加わりました。キット構成に法規制（毒物・劇物に指定される物質、カルタヘナ法、麻薬及び向精神薬取締法で定める麻薬向精神薬原料）物質に該当する原材料を使用しておりません。性能面においては各製品で高感度化を実現しました。今までの測定系では感度が得られず測定できなかったというような低濃度試料を感度良く、また再現性良く測定できるようになりました。

- ☆カルタヘナ法非該当（バキュロウイルス不含）
- ☆環境に優しい防腐剤使用（水銀、アジ化Na不含）
- ☆高い測定精度と再現性
- ☆短時間測定（総反応時間は3～5時間）
- ☆高感度化

◆ Human

レビス® Human IL-6 ELISA Kit

NEW レビス® Human IL-7 ELISA Kit

レビス® Human IL-8(CXCL8) ELISA Kit

レビス® Human IFN- γ ELISA Kit

レビス® Human TNF- α ELISA Kit

レビス® Human VEGF ELISA Kit



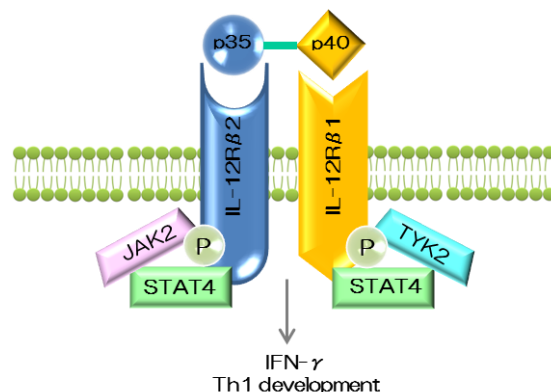
◆ Mouse

レビス® Mouse IFN- γ ELISA Kit

レビス® Mouse TNF- α ELISA Kit

レビス® Mouse IL-12 ELISA Kit

レビス® Mouse IL-17A ELISA Kit



LBIS

研究用試薬

レビス® Human IL-6 ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中IL-6を短時間・微量検体・高感度で測定可能

IL-6は189アミノ酸の分泌性の糖タンパク質で、B細胞を抗体産生細胞に分化させるサイトカインです。IL-6は関節リウマチの病態の活動性が相関するという報告もあり、関節リウマチなど自己免疫疾患、炎症疾患の分野でも注目されています。

■性能

- 検量線範囲：1.16~500 pg/mL
- 測定時間：総反応時間3時間50分
- 検体量：100 µL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■測定波長

主波長450 nm / 副波長620 nm

■検体

- ヒト血清/血漿（EDTA(推奨)/ヘパリン）
- 培養上清

■キットの構成

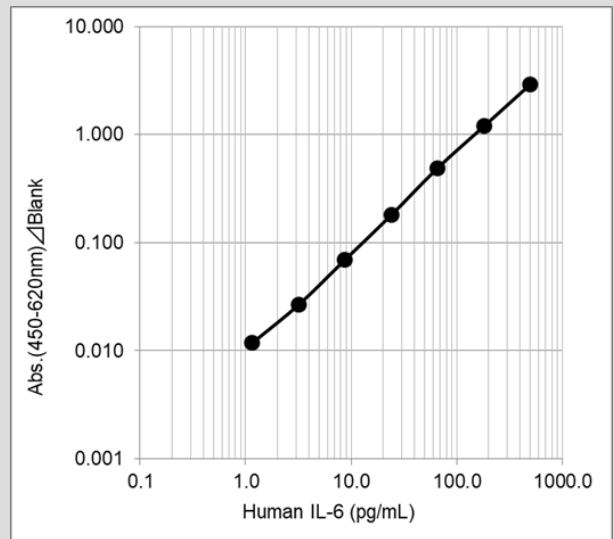
- (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)ヒトIL-6標準品・・・1本
- (C)緩衝液・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IL-6抗体・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 µL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human IL-6 ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
- ↓洗浄4回
- 希釈検体又は標準溶液 100 µL
- ↓攪拌、室温、2時間静置反応
- ↓洗浄4回
- ビオチン結合抗IL-6抗体 100 µL
- ↓攪拌、室温、1時間静置反応
- ↓洗浄 4回
- ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 µL
- ↓攪拌、室温、30分間静置反応
- ↓洗浄 4回
- 発色液 (TMB) 100 µL
- ↓攪拌、室温、20分間静置反応
- 反応停止液 (1 M H₂SO₄) 100 µL
- ↓攪拌
- 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20~25 °C

■標準曲線（例：レビス® Human IL-6 ELISA Kit）



■IL-6検体測定（例） 低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿）測定結果

血清検体No.	LBIS	他社A
1	9.27	N.D.
2	N.D.	N.D.
3	N.D.	N.D.
4	4.74	5.42
5	7.95	4.12
6	3.50	N.D.
7	3.15	N.D.
8	125	141
9	0.862 (参考値)	N.D.
10	35.3	5.50

検体条件	LBIS	他社A
血清検体 10検体中	8/10検出	4/10検出
EDTA血漿検体 10検体中	10/10検出	5/10検出
ヘパリン血漿検体 10検体中	7/10検出	1/10検出

EDTAを推奨します

検出感度が高いため、数pg/mLのIL-6を定量検出できた。

単位:pg/mL

レビス® Human IL-7 ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中IL-7を短時間・微量検体・高感度で測定可能

IL-7 は主に骨髄、胸腺、リンパ器官・組織のストロマ細胞等の非造血細胞によって産生され、幹細胞の免疫系細胞への分化を誘導するサイトカインです。CD4+、CD8+両細胞の増殖や発生、抗ウイルス活性を促進し、関節リウマチや慢性大腸炎発生、好酸球活性を介した喘息にも関係づけられています。

■性能

- 検量線範囲：1.50-236 pg/mL
- 測定時間：総反応時間2時間50分
- 検体量：100 μL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■測定波長

主波長450 nm / 副波長620 nm

■検体

- ヒト血清/血漿（EDTA/ヘパリン）
- 培養上清

■キットの構成

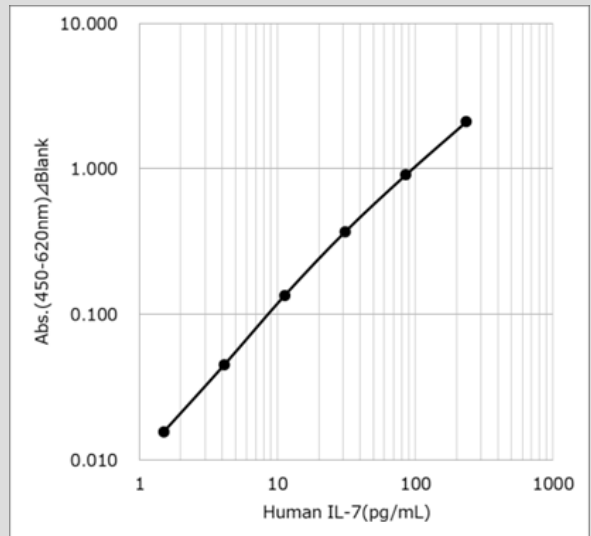
- (A)抗体固相化プレート 96ウェル(8×12)/1枚
- (B)ヒトIL-7標準品 1本
- (C)緩衝液 60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IL-7抗体 1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 150 μL/1本
- (F)発色液(TMB) 12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄) 12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×) 100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human IL-7 ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
 ↓洗浄4回
 希釈検体又は標準溶液 100 μL
 ↓攪拌、室温、1時間静置反応
 ↓洗浄4回
 ビオチン結合抗IL-7抗体 100 μL
 ↓攪拌、室温、1時間静置反応
 ↓洗浄 4回
 ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 μL
 ↓攪拌、室温、30分間静置反応
 ↓洗浄 4回
 発色液 (TMB) 100 μL
 ↓攪拌、室温、20分間静置反応
 反応停止液 (1 M H₂SO₄) 100 μL
 ↓攪拌
 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20～25℃

■標準曲線（例：レビス® Human IL-7 ELISA Kit）



■IL-7検体測定（例） 低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常血清 測定結果

血清検体No.	LBIS
1	3.9
2	2.44
3	7.59
4	6.21
5	9.36
6	5.35

血清検体No.	LBIS
7	3.78
8	11
9	40
10	10
11	3.5

単位:pg/mL

検出感度が高いため、数pg/mLのIL-7を定量検出できた。

レビス® Human IL-8 (CXCL8) ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中IL-8を短時間・微量検体・高感度で測定可能

IL-8は炎症性サイトカインの刺激により線維芽細胞や単球、血管内皮細胞で産生される77アミノ酸の炎症性CXCケモカインです。IL-8は様々な疾患との関連性が研究されており、リウマチ性関節炎、喘息などの呼吸器疾患、痛風、歯周炎、癌などの分野で注目されています。

■性能

- 検量線範囲：0.686~500 pg/mL
- 測定時間：総反応時間3時間50分
- 検体量：100 µL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■測定波長

主波長450 nm / 副波長620 nm

■検体

- ヒト血清/血漿（ヘパリン/EDTA）
- 培養上清

■キットの構成

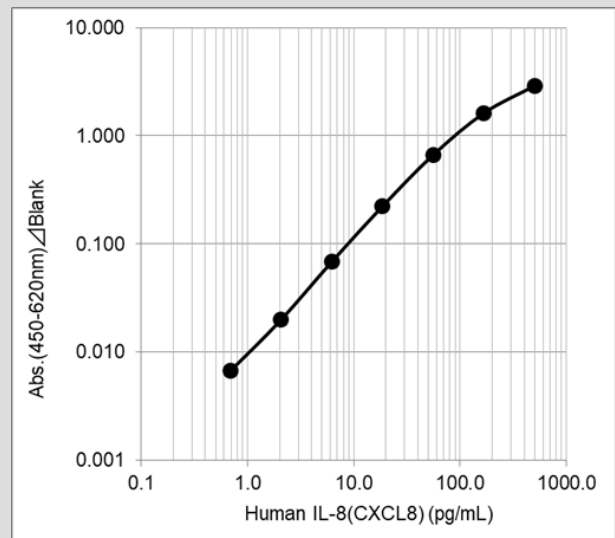
- (A)抗体固相化プレート 96ウェル(8×12)/1枚
- (B)ヒトIL-8(CXCL8)標準品 1本
- (C)緩衝液 60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IL-8(CXCL8)抗体 1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 µL/1本
- (F)発色液(TMB) 12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄) 12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×) 100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human IL-8(CXCL8) ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
 ↓洗浄4回
 希釈検体又は標準溶液 100 µL
 ↓攪拌、室温、2時間静置反応
 ↓洗浄4回
 ビオチン結合抗IL-8抗体 100 µL
 ↓攪拌、室温、1時間静置反応
 ↓洗浄 4回
 ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 µL
 ↓攪拌、室温、30分間静置反応
 ↓洗浄 4回
 発色液 (TMB) 100 µL
 ↓攪拌、室温、20分間静置反応
 反応停止液 (1 M H₂SO₄) 100 µL
 ↓攪拌
 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20~25 °C

■標準曲線（例：レビス® Human IL-8(CXCL8)ELISA Kit）



■IL-8検体測定（例）

低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿）測定結果

血清検体No.	LBIS	他社A
1	1.90	N.D.
2	10.5	N.D.
3	12.8	N.D.
4	19.4	21.6
5	36.9	42.9
6	0.864	N.D.
7	16.4	5.77
8	80.9	141
9	9.47	N.D.
10	7.08	N.D.

検体条件	LBIS	他社A
血清 10検体中	10/10検出	4/10検出
EDTA血漿 10検体中	10/10検出	0/10検出
ヘパリン血漿 10検体中	10/10検出	1/10検出

検出感度が高いため、数pg/mLのIL-8を定量検出できた。

単位:pg/mL

レビス® Human IFN-γ ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中IFN-γを短時間・微量検体・高感度で測定可能

IFN-γはIFN-α/βなどのI型インターフェロンとは構造が異なるII型インターフェロンで、143アミノ酸（ヒト）からなるサイトカインです。IFN-γは主に、抗ウイルス効果をはじめ、細胞増殖抑制効果、抗腫瘍効果、マクロファージ活性化、NK細胞の活性増強、免疫応答調節作用、分化誘導の調節作用などの生物活性を有することが知られており、様々な研究分野で注目されています。

■性能

- 検量線範囲：0.768 pg/mL～75.0 pg/mL
- 測定時間：総反応時間2時間20分
- 検体量：100 μL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■測定波長

主波長450 nm／副波長620 nm

■検体

- ヒト血清/血漿（EDTA(推奨)/ヘパリン）
- 培養上清

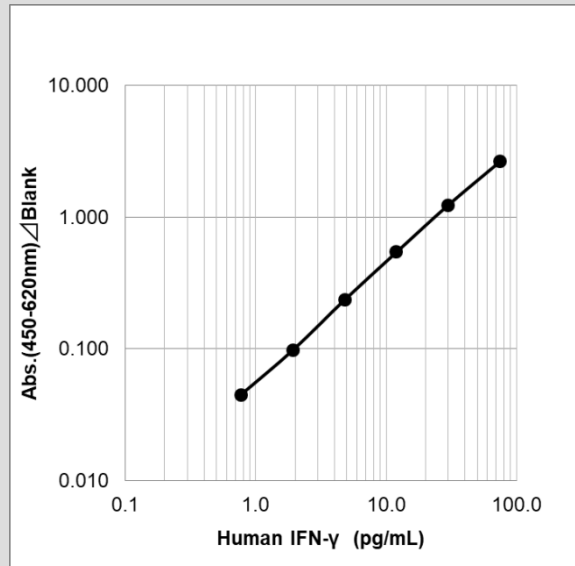
■キットの構成

- (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)ヒトIFN-γ標準品・・・1本
- (C)緩衝液・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IFN-γ抗体・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 μL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human IFN-γ ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
- ↓洗浄 4回
 - ビオチン結合抗IFN-γ抗体 50μL
 - ↓攪拌
 - 検体（希釈検体）または標準溶液 100μL
 - ↓室温、90分間静置反応、攪拌
 - ↓洗浄 4回
 - ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100μL
 - ↓攪拌、室温、30分間静置反応
 - ↓洗浄 4回
 - 発色液(TMB) 100μL
 - ↓攪拌、室温、20分間静置反応
 - 反応停止液(1M H₂SO₄) 100μL
 - ↓攪拌
 - 吸光度測定(主波長450 nm、副波長620 nm)
- 室温：20～25℃

■標準曲線（例：レビス® Human IFN-γ ELISA Kit）



■IFN-γ 検体測定（例）

低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿）測定結果

血清検体No.	LBIS	他社A
1	0.821	N.D.
2	1.21	N.D.
3	0.656 (参考値)	N.D.
4	0.244 (参考値)	N.D.
5	2.02	N.D.
6	0.525 (参考値)	N.D.
7	2.02	N.D.
8	1.43	N.D.
9	0.974	N.D.
10	1.71	N.D.

検体条件	LBIS	他社A
血清検体 10検体中	10/10検出	0/10検出
EDTA血漿検体 10検体中	10/10検出	0/10検出
ヘパリン血漿検体 10検体中	10/10検出	1/10検出

EDTAを推奨します

検出感度が高いため、数pg/mLのIFN-γを定量検出できました。

単位:pg/mL

レビス® Human TNF-α ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中TNF-αを短時間・微量検体・高感度で測定可能

TNF-αはマウスに移植した腫瘍に対して出血性壊死を誘導する因子として同定された157アミノ酸の炎症性サイトカインです。TNF-αは様々な疾患との関連性が報告されており、関節リウマチ、炎症の他、糖尿病・高脂血症、腎症、敗血症、骨粗鬆症などの分野で注目されています。

- 性能
 - ・検量線範囲：2.05～500 pg/mL
 - ・測定時間：総反応時間3時間50分
 - ・検体量：100 μL/ウェル（希釈検体）
- 精度試験
 - ・アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
 - ・アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内
- 測定波長
 - 主波長450 nm／副波長620 nm
- 検体
 - ・ヒト血清/血漿（ヘパリン/EDTA）
 - 培養上清

- キットの構成
 - (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
 - (B)ヒトTNF-α標準品・・・1本
 - (C)緩衝液・・・60 mL/1本
 - (D)ビオチン結合抗TNF-α抗体・・・1本
 - (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 μL/1本
 - (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
 - (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
 - (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human TNF-α ELISA Kit）

抗体固相化96ウェルプレート

↓洗浄4回

希釈検体又は標準溶液 100 μL

↓攪拌、室温、2時間静置反応

↓洗浄4回

ビオチン結合抗TNF-α抗体 100 μL

↓攪拌、室温、1時間静置反応

↓洗浄 4回

ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 μL

↓攪拌、室温、30分間静置反応

↓洗浄 4回

発色液（TMB） 100 μL

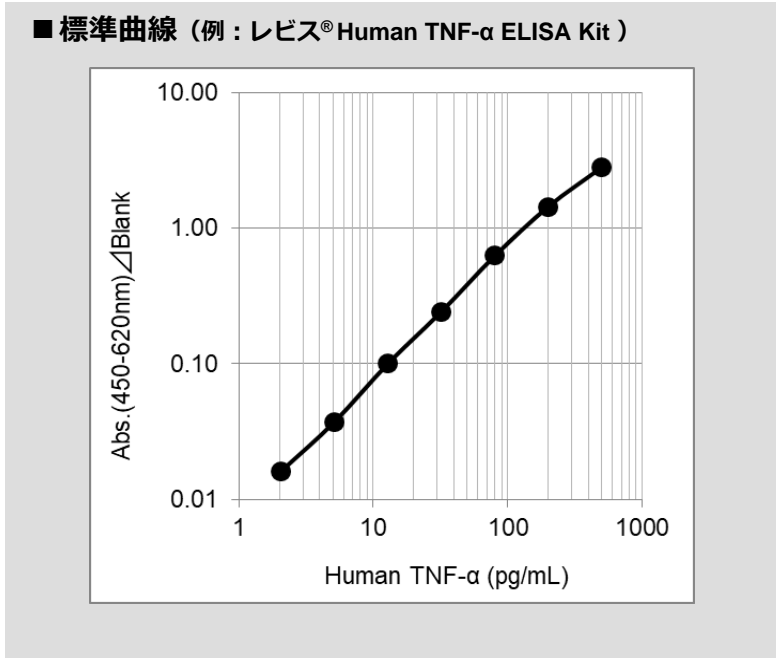
↓攪拌、室温、20分間静置反応

反応停止液（1 M H₂SO₄） 100 μL

↓攪拌

吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20～25℃



■ TNF-α検体測定（例） 低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿）測定結果

検体No.	LBIS	他社A
1	2.15	N.D.
2	19.5	N.D.
3	1.78 (参考値)	N.D.
4	N.D.	N.D.
5	3.26	N.D.
6	N.D.	N.D.
7	1.75 (参考値)	N.D.
8	N.D.	N.D.
9	N.D.	N.D.
10	1.54 (参考値)	N.D.

検体条件	LBIS	他社A
血清 10検体中	6/10検出	0/10検出
EDTA血漿 10検体中	6/10検出	1/10検出
ヘパリン血漿 10検体中	7/10検出	0/10検出

ヘパリンを推奨します

検出感度が高いため、数pg/mLのTNF-αを定量検出できた。

単位：pg/mL

レビス® Human VEGF ELISA Kit

ヒト血清（血漿）中VEGFを短時間・微量検体・高感度で測定可能

VEGFファミリーは血管新生において重要な役割を担うサイトカインで、なかでも、VEGF-A は最も強力な作用を示し、さらにVEGF-A₁₆₅はそのサブタイプの中で、最も多く存在し、腫瘍血管を誘導する効率も高いことが知られており、種々の癌において、予後の悪化と強く関係することが示されています。また、関節リウマチ、動脈硬化、網膜症、POEMS症候群などの疾患との相関も報告されています。

■性能

- 検量線範囲：1.10~800 pg/mL
- 測定時間：総反応時間4時間50分
- 検体量：100 μL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■測定波長

主波長450 nm / 副波長620 nm

■検体

- ヒト血清/血漿（ヘパリン/EDTA）
- 培養上清

■キットの構成

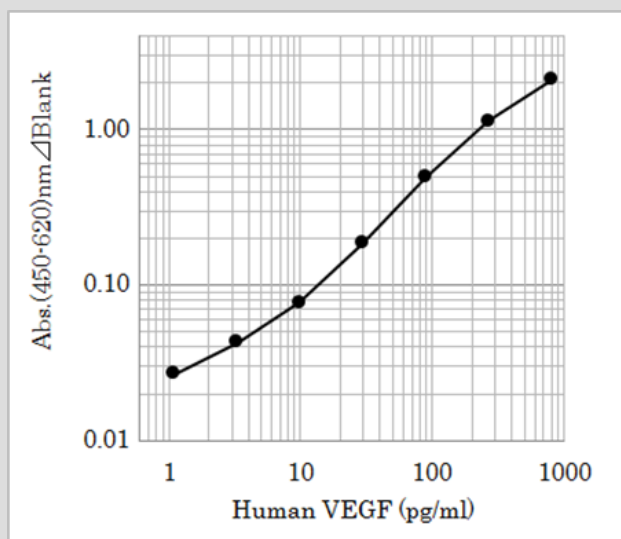
- (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)ヒトVEGF₁₆₅標準品・・・1本
- (C)緩衝液・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗VEGF抗体・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 μL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Human VEGF ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
- ↓洗浄4回
- 希釈検体又は標準溶液 100 μL
- ↓攪拌、室温、2時間静置反応
- ↓洗浄4回
- ビオチン結合抗VEGF抗体 100 μL
- ↓攪拌、室温、2時間静置反応
- ↓洗浄 4回
- ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 μL
- ↓攪拌、室温、30分間静置反応
- ↓洗浄 4回
- 発色液 (TMB) 100 μL
- ↓攪拌、室温、20分間静置反応
- 反応停止液 (1 M H₂SO₄) 100 μL
- ↓攪拌
- 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20~25 °C

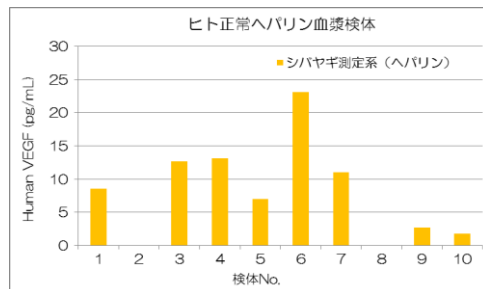
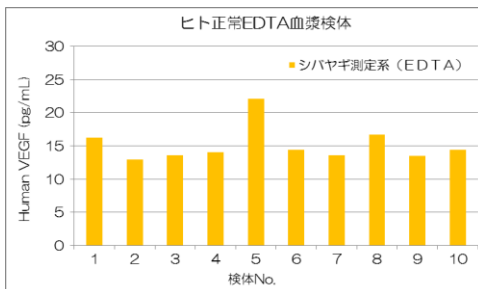
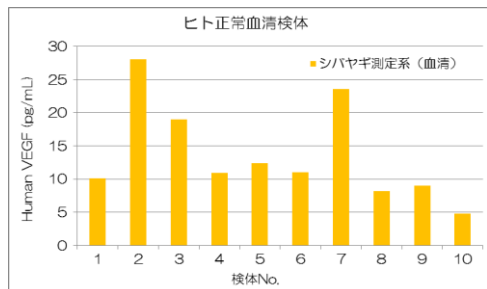
■標準曲線（例：レビス® Human VEGF ELISA Kit）



■ VEGF検体測定（例）

低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

ヒト正常検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿）測定結果



ヒト正常血液検体（血清、EDTA血漿、ヘパリン血漿：同一ドナーではない）を、各々10検体ずつ測定に供した。

(実施例の結果)

血清（10/10検出） 4.8~28.1 pg/mL

EDTA血漿（10/10検出） 13.0~22.1 pg/mL

ヘパリン血漿（8/10検出） ND、1.8~23.1 pg/mL

検出感度が高いため、数pg/mLのVEGFを定量検出できた。

レビス® Mouse IFN-γ ELISA Kit

マウス血清（血漿）中IFN-γを短時間・微量検体・高感度で測定可能

IFN-γはIFN-α/βなどのI型インターフェロンとは構造が異なるII型インターフェロンで、146アミノ酸からなるサイトカインです。IFN-γは主にT細胞、NK細胞により分泌され、ホモ二量体として機能し、抗ウイルス効果をはじめ、細胞増殖抑制効果、抗腫瘍効果、マクロファージ活性化、NK細胞の活性増強、免疫応答調節作用、分化誘導の調節作用などの生物活性を有することが知られており、様々な研究分野で注目されています。

■性能

- ・検量線範囲：2.05～500 pg/mL
- ・測定時間：総反応時間3時間50分
- ・検体量：50 μL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- ・アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- ・アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■検体

- ・マウス血清/血漿（ヘパリン/EDTA）

■キットの構成

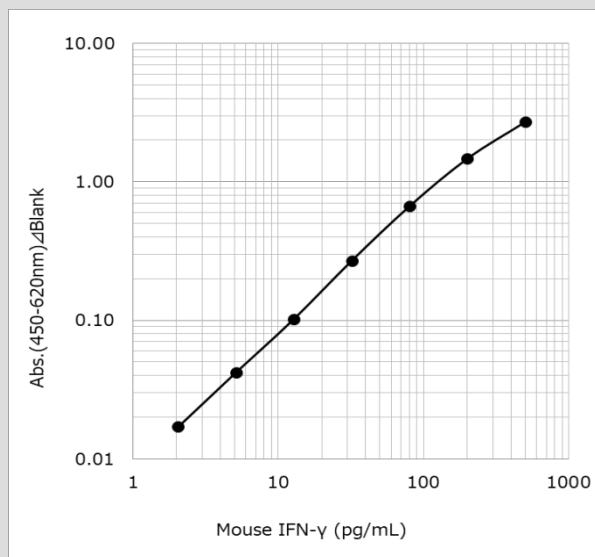
- (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)マウスIFN-γ標準品・・・1本
- (C)緩衝液・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IFN-γ抗体・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 μL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Mouse IFN-γ ELISA Kit）

- 抗体固相化96ウェルプレート
- ↓洗浄4回
- 希釈検体又は標準溶液 50 μL
- ↓攪拌、室温、2時間静置反応
- ↓洗浄4回
- ビオチン結合抗IFN-γ抗体 50 μL
- ↓攪拌、室温、1時間静置反応
- ↓洗浄 4回
- ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 50 μL
- ↓攪拌、室温、30分間静置反応
- ↓洗浄 4回
- 発色液（TMB） 50 μL
- ↓攪拌、室温、20分間静置反応
- 反応停止液（1 M H₂SO₄） 50 μL
- ↓攪拌
- 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20～25℃

■標準曲線（例：レビス® Mouse IFN-γ ELISA Kit）



■ INF-γ検体測定（例）

低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

正常マウス血清

検体	LBIS	他社A
N-1	30.1	N.D.
N-2	31.3	N.D.
N-3	5.73	N.D.
N-4	56.0	N.D.
N-5	19.3	N.D.

炎症モデルマウス血清

検体	LBIS	他社A
I-1	55.4	N.D.

MRL-lpr, 15週齢, ♂, 5匹プール血清, 2重測定

BALB/c, 8週齢, ♂, 16時間絶食, 2重測定, 単位:pg/mL

レビス® Mouse TNF-α ELISA Kit

マウス血清（血漿）中TNF-αを短時間・微量検体・高感度で測定可能

TNF-αはマウスに移植した腫瘍に対して出血性壊死を誘導する因子として同定された156アミノ酸（マウス）の炎症性サイトカインです。活性型マクロファージ、B細胞、T細胞、繊維芽細胞など種々の細胞で産生された後、生体内の細胞に広く存在しているTNF受容体であるTNFR1や免疫系細胞に存在するTNFR2に結合し、アポトーシスの誘導や抗体産生の亢進などを行うことにより、感染防御や抗腫瘍作用などに働くことが知られています。また、TNF-αは大型化した脂肪細胞からも分泌され、インスリン抵抗性を高める要因として糖代謝関連分野でも注目されています。TNF-αは様々な疾患との関連性が報告されており、関節リウマチ、炎症の他、糖尿病・高脂血症、腎症、敗血症、骨粗鬆症などの分野で注目されています。

■性能

- 検量線範囲：3.58～700 pg/mL
- 測定時間：総反応時間3時間50分
- 検体量：50 μL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
- アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内

■検体

- マウス血清/血漿（EDTA(推奨)/ヘパリン）

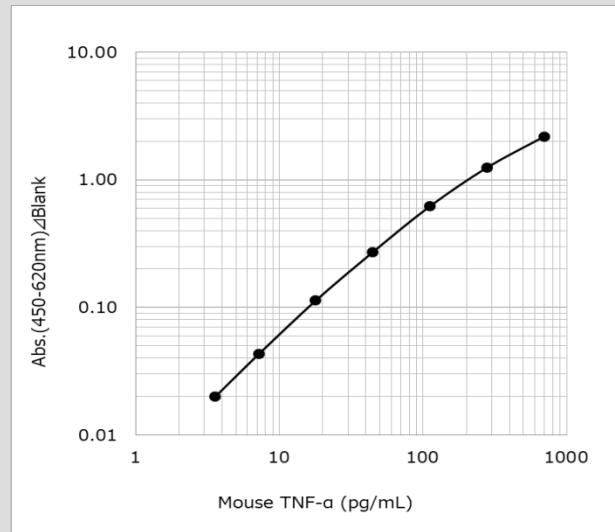
■キットの構成

- (A)抗体固相化プレート・・・・・・・・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)マウスTNF-α標準品・・・・・・・・・・1本
- (C)緩衝液・・・・・・・・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗TNF-α抗体・・・・・・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・・100 μL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・・・・・・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・・・・・・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Mouse TNF-α ELISA Kit）

抗体固相化96ウェルプレート
 ↓洗浄4回
 希釈検体又は標準溶液 50 μL
 ↓攪拌、室温、2時間静置反応
 ↓洗浄4回
 ビオチン結合抗TNF-α抗体 50 μL
 ↓攪拌、室温、1時間静置反応
 ↓洗浄 4回
 ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 50 μL
 ↓攪拌、室温、30分間静置反応
 ↓洗浄 4回
 発色液（TMB） 50 μL
 ↓攪拌、室温、20分間静置反応
 反応停止液（1 M H₂SO₄） 50 μL
 ↓攪拌
 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）
 室温：20～25 °C

■標準曲線（例：レビス® Mouse TNF-α ELISA Kit）



■TNF-α検体測定（例） 低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

正常マウス血清

検体	LBIS	他社A
N-1	5.10	N.D.
N-2	3.72	N.D.
N-3	4.49	N.D.
N-4	3.84	N.D.
N-5	4.20	N.D.

炎症モデルマウス血清

検体	LBIS	他社A
I-1	24.4	N.D.

MRL-lpr, 15週齢, ♂, 5匹プール血清, 2重測定

BALB/c, 8週齢, ♂, 16時間絶食, 2重測定, 単位:pg/mL

レビス® Mouse IL-12 ELISA Kit

マウス血清（血漿）中IL-12を短時間・微量検体・高感度で測定可能

IL-12は、分子量35000 (p35) と40000 (p40) の二つのサブユニットからなるヘテロ二量体のサイトカインです。IL-12は主にマクロファージおよびB細胞から産生され、IFN- γ の産生を誘導し、細胞性免疫に関与する1型ヘルパーT細胞 (Th1) の分化を誘導することにより、自己免疫疾患、微生物やウイルスの感染、がんなどに対する免疫反応の開始において重要な役割を担っています。

- 性能
 - ・検量線範囲：2.87~700 pg/mL
 - ・測定時間：総反応時間4時間50分
 - ・検体量：100 μ L/ウェル（希釈検体）
- 精度試験
 - ・アッセイ内変動：平均C.V.値は15%以内
 - ・アッセイ間変動：平均C.V.値は15%以内
- 測定波長
 - 主波長450 nm / 副波長620 nm
- 検体
 - ・マウス血清/血漿（EDTA）
 - 培養上清

- キットの構成
 - (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
 - (B)マウスIL-12標準品・・・1 μ g
 - (C)緩衝液・・・60 mL/1本
 - (D)ビオチン結合抗IL-12抗体・・・1本
 - (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 μ L/1本
 - (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
 - (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
 - (I)濃縮洗浄液(10 \times)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Mouse IL-12 ELISA Kit）

抗体固相化96ウェルプレート

↓洗浄4回

希釈検体又は標準溶液 100 μ L

↓攪拌、室温、2時間静置反応

↓洗浄4回

ビオチン結合抗IL-12抗体 100 μ L

↓攪拌、室温、2時間静置反応

↓洗浄 4回

ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 100 μ L

↓攪拌、室温、30分間静置反応

↓洗浄 4回

発色液（TMB） 100 μ L

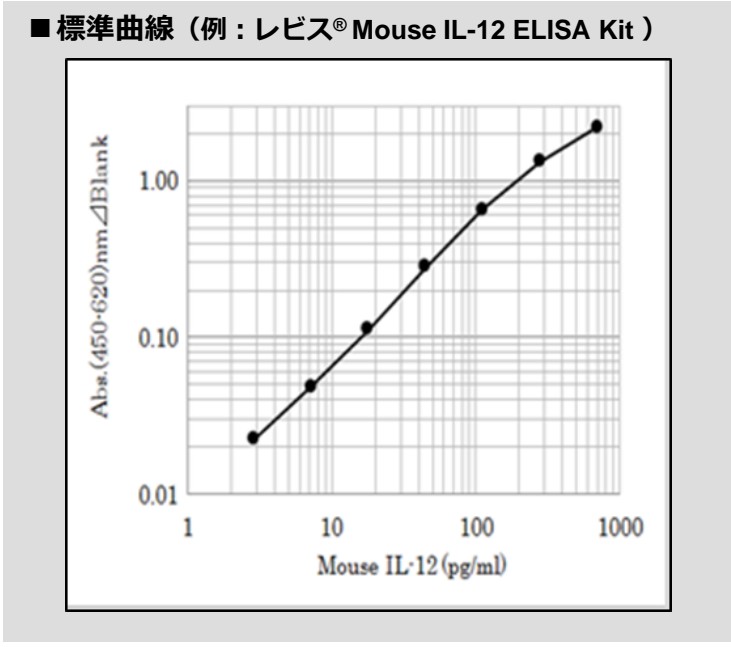
↓攪拌、室温、20分間静置反応

反応停止液（1 M H₂SO₄） 100 μ L

↓攪拌

吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）

室温：20~25 °C



■ IL-12検体測定（例） 低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

正常マウス血清

検体	測定値(pg/mL)
N-1	10.6
N-2	11.0
N-3	9.9
N-4	9.2
N-5	8.8

C57BL/6J, 8週齢, ♂, 心臓採血, 2重測定

炎症モデルマウス血清/血漿

検体	測定値(pg/mL)
Serum-3	182
Serum-4	278
Serum-5	223
Plasma-4	183
Plasma-5	155

MRL-lpr, 12週齢, ♂, 心臓採血, 2重測定
抗凝固剤；EDTA-2Na（最終濃度1.0 mg/mL）

正常マウス血清中のIL-12を定量検出できた。

レビス® Mouse IL-17A ELISA Kit

マウス血清（血漿）中IL-17Aを短時間・微量検体・高感度で測定可能

IL-17Aは2つの133アミノ酸サブユニットからなるホモ二量体の炎症誘発性サイトカインです。IL-17には6個のファミリー（IL-A～F）が存在しますが、一般にIL-17と言えばIL-17Aを指します。IL-17Aは主に活性化T細胞により産生され、線維芽細胞、上皮細胞、血管内皮細胞、マクロファージなど広範囲の細胞に作用し、炎症を誘導します。従来知られていたTh1やTh2細胞とは異なるCD4+T細胞から産生されることが判明し、これをTh17細胞とする概念が定着してきています。

IL-17Aは関節リウマチ（RA）をはじめとする様々な自己免疫疾患、炎症性疾患やアレルギー反応、細菌感染防御などに重要な役割を果たしていることが知られてきており、注目を集めています。

■性能

- ・検量線範囲：2.06～800 pg/mL
- ・測定時間：総反応時間3時間50分
- ・検体量：50 µL/ウェル（希釈検体）

■精度試験

- ・アッセイ内変動：平均C.V.値は15 %以内
- ・アッセイ間変動：平均C.V.値は15 %以内

■検体

- ・マウス血清/血漿（EDTA(推奨)/ヘパリン）

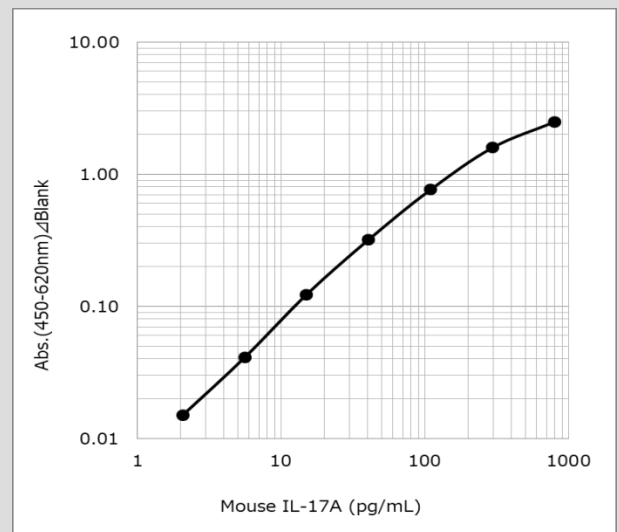
■キットの構成

- (A)抗体固相化プレート・・・96ウェル(8×12)/1枚
- (B)マウスIL-17A標準品・・・1本
- (C)緩衝液・・・60 mL/1本
- (D)ビオチン結合抗IL-17A抗体・・・1本
- (E)ペルオキシダーゼ・アビジン結合物・・・100 µL/1本
- (F)発色液(TMB)・・・12 mL/1本
- (H)反応停止液(1 M H₂SO₄)・・・12 mL/1本
- (I)濃縮洗浄液(10×)・・・100 mL/1本

■操作法（例：レビス® Mouse IL-17A ELISA Kit）

抗体固相化96ウェルプレート
 ↓洗浄4回
 希釈検体又は標準溶液 50 µL
 ↓攪拌、室温、2時間静置反応
 ↓洗浄4回
 ビオチン結合抗IL-17A抗体 50 µL
 ↓攪拌、室温、1時間静置反応
 ↓洗浄 4回
 ペルオキシダーゼ・アビジン結合物 50 µL
 ↓攪拌、室温、30分間静置反応
 ↓洗浄 4回
 発色液（TMB） 50 µL
 ↓攪拌、室温、20分間静置反応
 反応停止液（1 M H₂SO₄） 50 µL
 ↓攪拌
 吸光度測定（主波長450 nm、副波長620 nm）
 室温：20～25 °C

■標準曲線（例：レビス® Mouse IL-17A ELISA Kit）



■IL-17A検体測定（例）

低濃度検体が測れなくてお困りではないですか？

正常マウス血清

検体	LBIS	他社A
N-1	5.75	N.D.
N-2	46.6	N.D.
N-3	45.2	5.14
N-4	1.90（参考値）	N.D.
N-5	53.2	N.D.

BALB/c, 8週齢, ♂, 16時間絶食, 2重測定, 単位:pg/mL











正常マウス血漿(EDTA-2Na)

検体	LBIS	他社A
N-6	96.8	N.D.
N-7	4.28	N.D.
N-8	12.4	N.D.
N-9	3.01	N.D.
N-10	5.62	5.21

BALB/c, 8週齢, ♂, 16時間絶食, 2重測定, 単位:pg/mL

サイトカインシリーズ価格表

■コード・品名・標準曲線範囲・価格（96ウェル/キット）（希望納入価格には消費税は含まれていません）

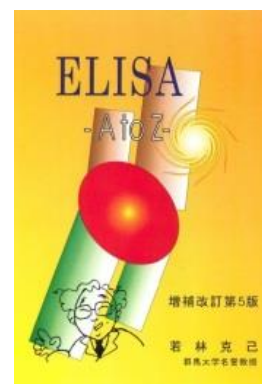
和光コード	シバヤギコード	品名	標準曲線範囲	希望納入価格
635-42311	AKH-IL6	レビス® Human IL-6 ELISA Kit 	1.16~500 pg/mL	70,000円
637-50441	AKH-IL7	レビス® Human IL-7 ELISA Kit 	1.50~236 pg/mL	70,000円
632-42321	AKH-IL8	レビス® Human IL-8 (CXCL8) ELISA Kit 	0.686~500 pg/mL	70,000円
631-47891	AKH-IFNG	レビス® Human IFN-γ ELISA Kit 	0.768~75.0pg/mL	70,000円
639-42331	AKH-TNFA	レビス® Human TNF-α ELISA Kit 	2.05~500 pg/mL	70,000円
631-40831	AKH-VEGF	レビス® Human VEGF ELISA Kit 	1.10~800 pg/mL	58,000円
630-44701	AKMIFNG-011	レビス® Mouse IFN-γ ELISA Kit 	2.05~500 pg/mL	58,000円
634-44721	AKMTNFA-011	レビス® Mouse TNF-α ELISA Kit 	3.58~700 pg/mL	58,000円
638-40841	AKMIL12-011	レビス® Mouse IL-12 ELISA Kit 	2.87~700 pg/mL	58,000円
637-44711	AKMIL-17-011	レビス® Mouse IL-17A ELISA Kit 	2.06~800 pg/mL	58,000円

～『イムノアッセイ』の測定技術習得をサポートします～

教材/研修用/技術評価用

レビス® ELISAトレーニングキット

ELISAトレーニングキットは、
ELISA測定を始められる方、
ELISA測定の技量を確認したい方、
測定施設内/間で技術検定を実施したい方向けの製品です。



和光コード	シバヤギコード	品名	容量	希望納入価格
639-31581	AKRBS-TR2	レビス® ELISA トレーニングキット 	1 kit	40,000円

安全に関するご注意

- 掲載の製品は研究用試薬です。研究用試薬以外の目的には使用しないでください。
- 当製品は冷暗所に保存の上、有効期限までにご使用ください。
- ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ELISA製品には硫酸が入っていますのでその取り扱いにはご注意ください。
- ご使用後の廃棄はご利用の施設の廃棄法に従ってください。

[製造・発売元] 富士フィルムワコーシバヤギ株式会社
〒377-0007 群馬県渋川市石原1062番地1
TEL.0279-25-0279 FAX.0279-23-0313
〈URL〉 <http://www.shibayagi.co.jp>
〈E-mail〉 wksb-info@fujifilm.com

[販売元] 富士フィルム 和光純薬株式会社
本社〒540-8605 大阪府中央区道修町三丁目1番地2号
〈URL〉 <https://labchem-wako.fujifilm.com>
フリーダイヤル0120-052-099

お問い合わせは

このパンフレットの内容は2020年6月現在のものです。掲載データはお断りなく変更する場合があります。